

川崎市青少年育成連盟（川崎市子ども会連盟・ボーイスカウト川崎地区協議会・ガールスカウト川崎市連絡会・川崎海洋少年団）

育連だより

<http://www.join.saiwai.kawasaki.jp/volunt/ikuren/index.html>

川崎市「成人の日を祝うつどい」開催される

明け方まで雪模様のなか、平成13年1月8日に、「成人の日を祝うつどい」が川崎市とどろきアリーナで開催されました。

この事業には、青少年育成連盟加盟団体の、ボーイスカウトやガールスカウト、子ども会が、会場への案内や、受付、会場内の整理、安全確保に大勢お手伝いをしています。

他都市では新成人のマナー等が問題になっていますが、川崎市の場合、皆さんの御尽力により、大きな混乱もなく終了できました。

また、式典のなかで、午前の部に東園子（あずま そのこ・ガールスカウト）さん、午後の部に各務裕太（かがみ ゆうた・子ども会）さんが、新

成人を代表して、成人になった抱負などを発表しました。ご苦労さまでした。



青少年育成連盟所属団体指導者42名が善行表彰、神奈川県知事表彰、川崎市長表彰を受賞

平成12年度各種表彰受賞者（敬称略 50音順）

●善行表彰受賞者（7名）

表彰日 平成12年11月22日（水）
河合 武夫（B.S）、徳武 道雄（子会）
中村 照夫（子会）、長尾みはる（G.S）
広岡 昭夫（子会）、堀田 利則（B.S）
吉留 博子（子会）

●神奈川県青少年育成功労者表彰（3名）

表彰日 平成13年1月22日（月）
近江 廣之（B.S）、小林美年子（G.S）
山崎 優（子会）

●神奈川県青少年育成活動推進者表彰（7名）

表彰日 平成13年1月28日（日）
雨池ヒサ子（B.S）、岩井 弘（子会）
毛塚 尚男（B.S）、中谷 悦子（子会）
中村 照夫（子会）、松井三代司（子会）
宮田 妙子（G.S）

●川崎市青少年健全育成功労者表彰（25名）

表彰日 平成13年2月7日（水）
飯島 元和（子会）、磯崎 孝行（子会）
板垣 静子（子会）、大沼 信夫（子会）
小川 町子（G.S）、金井 弘年（B.S）
木伏 和子（海洋）、木村 耕三（B.S）
楠 明（B.S）、小泉 敬子（G.S）
今春 宏泰（B.S）、斉藤 安子（子会）
斉藤ゆき子（子会）、鈴木たい子（子会）
清家 佳恵（子会）、高原 俊英（子会）
田代 哲司（子会）、近田美智子（子会）
千田 慶子（子会）、徳野ノブエ（G.S）
長崎 光雄（B.S）、原 一彦（子会）
原 紀代子（B.S）、山下 英樹（子会）
山鼻 昭夫（子会）



川崎地区レンジャー「熱血娘」

ガールスカウト

こんにちは。私は川崎地区レンジャー代表のアッコです。ここでは私達「熱血娘」のあつ〜いあつ〜い年間活動についてご紹介したいと思います。私達「熱血娘」は、一つの年間テーマをもとに、テーマにそって活動をしています。この活動は、団という枠を越えて同じ地区で活動しているレンジャーの人と、とても仲良くなれます。

発足1年目の年は「いろいろな人に会ってみよう」というテーマのもと、クラフト+ラッピング、料理や宿泊などをしました。

平成12年度の年間テーマは「世界を知るための交流を深めよう」でした。そして課題として「ワッペン作り」をしました。世界を知るための手がかりの一つに「交流」があり交流を深めるためにワッペンを交換したいというスカウトの意見がきっかけで、熱血娘がすべてを手がけたオリジナルワッペンを作る事になりました。デザインや注文、在庫管理に資金作りのためのフリーマーケットもすべて熱血娘だけで行いました。最初は本当にできあがるのか不安だったワッペンも、さまざまな経験を積み重ね、見

事に完成させる事ができました。ワッペン作りではほとんどの事が初めてで本当によい勉強になりました。「世界を知ろう」という事で料理作りにも挑戦しました。今年度は韓国料理を作りました。その他の活動として夏休み中に日本連盟を訪問しました。訪問記念として色紙を置いてきました。

私達「熱血娘」の心はいつでもどこでもあつ〜く燃えています。この面白くて、ためになる活動はあなた自身によって作られるのです。

ぜひ参加してみてください。



お父さん、スカウトになる。

ウッドバッジ研修所 体験記

ボーイスカウト 40団 内藤 正美

午前4時起床。眠い目をこすりながら5時の始発で出発。子供に想いを残しつつ、そして期間中に迎える18回目の結婚記念日をスッポカすことに恐ろしさを感じつつ、向うは遠くスカウトの聖地山中野営場。

子供の入団をきっかけにスカウト活動に係わるようになって3年、団委員となって1年半、スカウト経験も隊指導者としての経験もない私が果たして研修所のプログラムについて行けるのか、大きな不安を持って臨んだ研修でした。

実際には参加者の多くはスカウト経験のない方、指導者経験も数カ月〜1年程度の方が多く、年齢も20代前半から60代の方まで幅広いうえ、4分の1は女性で構成されており、同じレベル、同じ状況の人が集まっていることを知りひと安心でした。

設営や炊事・撤営などもハードワークではあっても楽しいものでしたし、ご飯も上手に炊け、テントでもぐっすり眠ることができました。(標高のせい

か寒さに震えましたが。)

体を動かすよりは座学が多く大変でしたがゲームや歌の実習・ハイキング体験など思わずスカウトになりきって無邪気に夢中になってしまい「遊びではありません、研修です」とたしなめることも何度となくありました。

班で一緒になったメンバーとは濃密な時間を過ごした同士として貴重な仲間を得た思いです。(今もメールで情報交換しています)。

苦しくも楽しい4日間が過ぎ、閉所式の際修了証とウオグルを授かった時には胸にグッとくるものがありました。

素晴らしい体験を与えてくれたスタッフの皆様に感謝の想いを伝えたいと思います。

そして、父母の皆さん、「案ずるより受ける」です。是非ウッドバッジ研修を体験してみてください。貴方も何かを得ることが出来ます。

全川崎子ども会作品展と羽根つき大会

(子ども会)

第34回作品展と第49回羽根つき大会が、2月4日川崎市立体育館で行われました。

作品展は各区の審査を通った書道348点、絵画305点、ちぎり絵65点が、市内小・中学校の6名の先生方により前日最終審査が行われ、各部門ごとに最優秀賞など82点の入賞作品が決まりました。最優秀賞書道の部は清水麻美(宮前区・稗原、中2)、絵画の部は村澤晴海(宮前区・馬絹、小6)が2年連続の受賞、ちぎり絵は横井成美(麻生区・真福寺、小6)が選ばれ2月14日から18日まで「さいか屋川崎店」6階に入賞作品82点を展示、最終日の午後から展示場で表彰式が行われました。

伝統の羽根つき大会は各区の大会を勝ち進んだ



審査風景 (東京新聞社提供)



熱戦展開中 (東京新聞社提供)

新春たこあげ大会

子ども会 三堀さき子

健康で情操豊かな子ども達にと第20回新春たこあげ大会を1月14日(日)多摩川河川敷で川崎市公園緑地協会主催、中原区子ども会連合会、昇ライオンズクラブと協賛して行なわれました。

5,600名の子どもと親が参加して、参加賞として頂いた「洋風」をあげ、甘酒を飲みながらひとときをすごしました。

若い父親と子どもは凧を揚げて、風のくるのを待つすがた、たくさんの凧が思いのままに泳いでいる閑かな姿、1本の糸で繋がる親と子の心のふれあい、子ども達の明るい笑顔は本当に楽しいものです。

又、子ども達に白凧を渡し思い思いの絵を書いてきてもらい学年ごとに審査し、優秀、入選を決め賞を出しました。入賞した作品については後日中原区

役所のロビーに1週間展示して区役所においでの皆様にご覧いただいています。

短歌

凧あまた 思いのままに 泳ぎをり
閑かに流る 多摩の川面に



只今！手旗とロープの特訓中

川崎海洋少年団

平成13年度の活動の大きな目標は、8月に2泊3日で開催される全国大会です。2年に1度の全国大会で今年は静岡県清水市で実施されます。

全国大会の内容は、全国の海洋少年団員の友情を深めるための集いと4種の競技を行います。競技はカッター（漕艇）、水泳、手旗とロープ（結索）で競い合います。その中でも手旗とロープの競技に力を入れて好成績を取れるように特訓中です。

手旗の受信競技は、送信者が手旗を動かし信号（文字）を送って来るのを受信する競技です。意味

の無い50文字と意味のある文章50文字の合わせて100文字を受信します。そして100文字正解すると満点賞を受賞できます。

ロープ競技は、4名のグループ競技でちーむわーくを必要とします。ロープをバトンとして使い4種類の結び方をリレー方式で競い合います。

これから夏までの活動は、遊びを交えながらも手旗とロープを中心とした活動になりますが、一人でも多くの団員が良い結果が出せるように全国大会を目指してがんばります。

いろいろな情報がいっぱい

～子ども未来情報基地の紹介～

「学校が休みの今度の土曜日に、どこかで自然体験をしてみたい」

「週末に親子でボランティア活動してみたい」

「いろいろなものをつくってみたい」

このような情報がほしいときに、子ども未来情報基地がお手伝いをします。

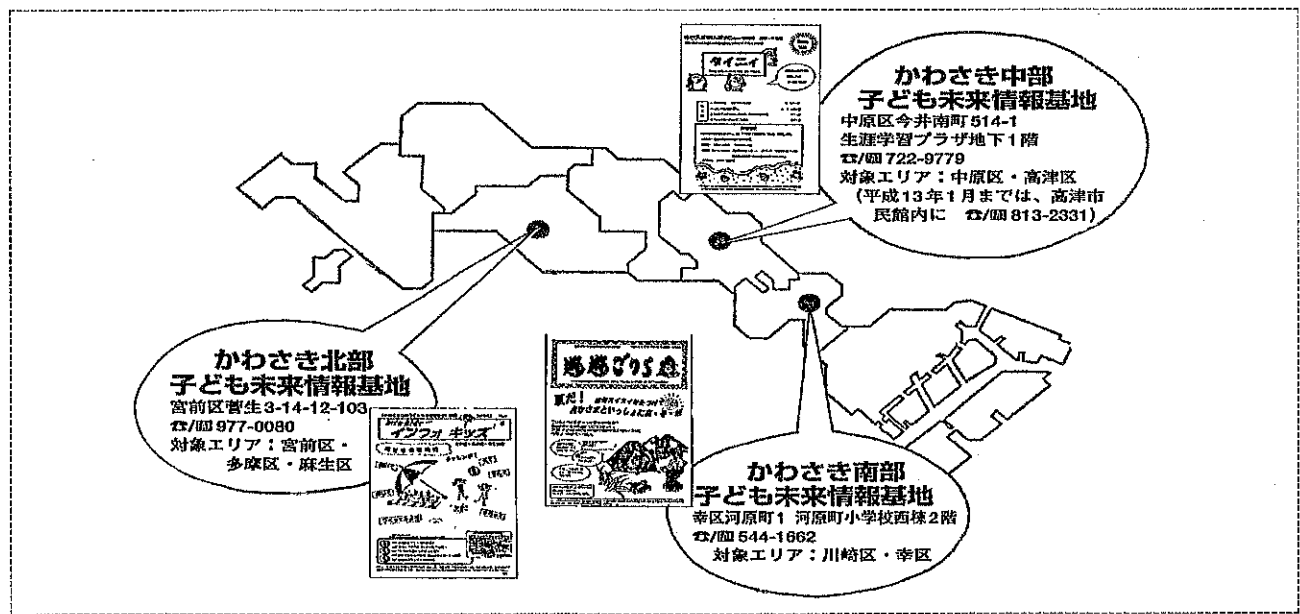
子ども未来情報基地では、いろいろな情報を集め、年に4回（1月・4月・7月・10月）情報誌をつく

り、さまざまな相談紹介に応じています。

情報誌は、駅・コンビニ・郵便局・公共施設などに置いてありますので、是非手に取ってご覧ください。楽しい情報がいっぱいつまっています。

また、子ども未来情報基地ではホームページも開設しています。こちら情報も満載です。

くわしいことや、お問い合わせは、下記の子どもの未来情報基地へ。



発行 川崎市青少年育成連盟
事務局 〒211-0053
中原区上小田中6-22-5

エポック中原5階
TEL 044-733-3951
印刷 西桜印刷株式会社

※青少年団体への加入申し込み、お問い合わせは、青少年育成連盟事務局（733～3951）へ